



み
ら
い
く
新
聞



信州子育てみらいネット
広報担当



みらいく保育園は、家庭より大きいけれど、集団より小さい：年少さんになる前の小さな第一歩となる、まさに、おうちのような保育園、です。0、1、2歳の大事な乳幼児期に、ひとりひとりの成長に合わせた寄り添いの保育を何より大切にしていきます。泣いて笑って、一喜一憂を子ども達と味わいながら、保護者のみなさまと一緒に悩み考え、成長を喜び合い、一緒に子育てを楽しくさせてください。「今日、保育園？やったー」と親子でそんな風に思ってもらえる保育園でありたいと思っています。今日は子ども達のどんな「やったー」が聞こえてくるかな？



Yuki Kato

今年度4月より施設長を務めさせていただきます
ます小林汐里です。入園・進級から1ヶ月が経ち、涙を見せていた子どもたちも、笑顔で登園する姿が見られ、保育室には、賑やかで元気な笑い声が溢れています。中野園の魅力のひとつである広くて大きな園庭では、子どもたちが思い切り体を動かして駆け回っています。汗をかくことで、体力が回復し、気持ちもすっきりしています。いって全力で駆け回る姿が嬉しいです。

乳児期は子どもたち一人ひとりの気つきや発見に寄り添い、日々成長していく姿を保護者の皆様や職員と一緒に喜び合いながら、温かく見守っていきたいと思います。また子どもたちをはじめ、保護者の皆さまが安心して預けることのできる園づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



施設長代理になりました金井美樹と申します。みらいいく小布施・みらいいく小布施第二は今年度三十七名の園児さんをお預かりしています。未満児の保育園の中では園児数が多い方かと思いますが、職員全員が子ども達への愛に溢れ、一人ひとりと丁寧に関わって保育しています♪そんな先生たちに子どもたちも安心して毎日保育園に通うことが出来ているなと感じております。

今後、子どもたちも保護者の方も安心して通っていただける保育園づくりをしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



4月より、みらいく早苗町の園長を務めます森山ゆりかです。夜の保育園みらいくが今年度より、みらいく早苗町第2へと変わり、そちらでは主任保育士として勤務させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

明るく優しく、頼もしい職員たちと共に子どもたちの小さな発見や成長に日々感動しながら、和やかな保育ができることを大変嬉しく思っています。日頃から子育てに奮闘されている保護者の皆様にもしっかりと寄り添い、保育園を身近に感じていただけるよう、対話を大切にしていきたいと思っています。



今年度より穂高園の主任になりました小平真帆です。安曇野市の自然豊かな場所で、子どもたち一人ひとりの笑顔、個性、成長を大切にしています。広い園庭や自然の散策を通して、たくさんの方見や体験を重ね、のびのびとした心と体を育てています。元氣いっぱい先生たちは、子ども達と一緒に毎日思い切り遊び、笑い、寄り添いながら、家庭的な温かさを大切に保育をしています。

これからも、子どもたちの「やってみたい!」という気持ちや「楽しい!」「うれしい!」と感ぜられる毎日を作っていきたいと思います。また、保護者の皆様と手を取り合い、笑顔あふれる園づくりを目指していきたいと思っています。



昨年に引き続き、児童発達支援センターみらいの児童発達支援管理責任者を務めさせていただきます。春日愛斗です。児童発達支援センターみらいは昨年開設をして2年目に突入しました。いろいろなお子さんがいる中で、職員も子どもでもできることを増やしながら毎日楽しんで活動をしています！今年は人数も増えてきたので、昨年より季節ごとのイベントを増やして、普段の療育に合わせてつつ思いつきり楽しめるようにしていきたいと考えています！

今後一人ひとりに寄り添った療育を大切にしながら、子どもたちや保護者の皆様が安心して通えるような施設づくりに努めていきたいと思っています。



今年度、みらいく県町の施設長代理を務めさせていただくことになりました、帯刀千佳です。毎朝元気に登園してくる子どもたちの姿や、可愛らしい笑顔に癒される日々を過ごしています。みらいくの園の中でも最も小規模であり、お店が立ち並ぶ街中に位置しているのが県町の特徴です。その特色を生かしながら、子どもたちの「やってみたい!」という気持ちをたくさん叶えられるように、また地域との交流も大切にした保育を目指してまいります。

保護者の皆さまともたくさんお話をし、お仕事帰りにほっと一息つけるような場所になれたら嬉しいです。一年間、どうぞよろしくお願いいたします！

みらいく相談員を設置

新たに設置された「みらいく相談員」について、経緯や目的など詳しくお話を伺いました。



●相談支援専門員・保育士 近藤先生のお話

◎きっかけ

保育園では日々子どもたちと接している中で、発達の面で気になる子が出てくることはよくあります。そしてその保護者対応も慎重に行わなければならないのですが、まだ若い先生方の中にはそういった支援の仕方に悩みを抱えている人も多いのも現状です。そこで私も保育士として長年やってきた経験から、私の方では園に直接子どもの様子を見に行ったり、対応の仕方に困っている職員からの相談にのったりアドバイスしたりなど、みらいくの先生を手助けする目的で「みらいく相談員」という形を作り、理事長に提案させていただいたのがきっかけです。

◎みらいく相談員とは

「三三三」園訪問などにつながる前段階で、少し発達に気になるけど判断しかなる場合や保護者さんから発達の相談を受けた場合など、保育士から相談員へまずは連絡をもらい、お子さんの様子を見させていたいただいた後、必要に応じて保護者さんにアセスメントを行います。本当に療育が必要なケースの場合は、各市町村の基幹センターにつきぎ療育を受けられるようにしていくシステムです。



各園行事紹介

みらいく高田

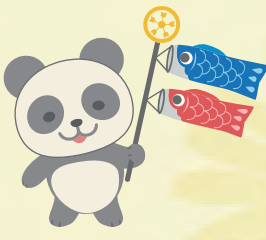
こいのぼり会

計画担当 小林(ゆ)先生



こいのぼり会を計画したのは、3月のひな祭り会で「女の子の成長を祝う日だよ」と子どもたちに話していた、男の子の成長を祝う日もやってあげたいなとふと気がついたので、こいのぼりの製作はしているのですが、お披露目する機会を作っていなかったので提案しました。

当日は簡単にこいのぼりを飾る由来を話した後、クラスごとに製作したこいのぼりを発表して、最後に歌を歌って記念撮影をしました。子どもたちは飽きずに楽しんでくれて、歌も上手に歌ってくれていました。今後は高田園ではまだ実施できていない三三三運動会も楽しそうだなと考えています。子どもたちも親御さんも楽しんでもらえるような行事を考えていけたらいいと思います。



みらいく小布施

運動会ごっこ

計画担当 内田先生



今回子どもたちにはいつもより早めに登園してもらい、とくに1歳児さんは一足先に運動会会場の公園にいき朝おやつを外で食べて楽しみました。他のクラスも揃ったところではみんなので体操をして、記念写真を撮ってから運動会がスタートしました。当日は天気がとても良く気温も高かったため、水分補給や子どもたちの体調や体のリズムにも気を付けて行いました。玉入れやかけっこだけでなく、かわいい衣装でパレードをしたリズムダンスもできました。



穂高みらいく保育園
野菜の苗植え

計画担当 森先生



まずは子どもたちの目の前に苗を見せて「これが野菜の苗だよ」と説明をしたり、トマトなどが知ってほしい野菜はクイズにして答えもらいました。子どもたちにはあまりまだなじみのないオクラやサトイモの紹介もしました。その後今年はおたくさん植える苗があったため二手に分かれて苗植えを行いました。特に2歳児さんは1人2〜3個ぐらい苗や種を植えて頑張ってもらいました。水やりも「大きくなあれ」と言いながら毎日楽しんでやってくれているようです。今では毎日育った野菜を収穫して給食室に持ってきてくれます。今年は好き嫌いが激しい子は少ないので、自分たちで育てた野菜に興味をもって給食でも美味しそうに食べてくれます。スイカが育ったら食育としてスイカ割りもやる予定です。また、サトイモの葉っぱで傘を作るのも目標で葉の成長を楽しみに見守っています。今後はまだ地域交流ができていないので、田んぼの農家さんに声をかけるなどしていけたらいいなと思っています。

中野みらいく保育園

お花見

計画担当 北沢先生



今年のお花見は天気にも恵まれ、全学年合同で近くの神社に行って満開の桜の下で記念写真を撮ることができました。

子どもたちは進級・入園したばかりというところもあってかまだみんなで一緒に過ごすには緊張しているような姿もありましたが、「お花咲いているね」とお話するとニコニコして眺めていて、それぞれお花見を楽しんでくれました。この日以外にもいろいろな公園にお散歩に行き、桜が咲いているところを何カ所も見回れて、その都度落ちていた花びらをつまんだり咲いているお花を指さしたりとたくさん楽しめました。中にはどんぐりを見つけたり小石を拾ったりと、子どもたちは上も下も見ながらとても楽しんでくれていました。今後はバスなど普段乗らないような公共交通機関を使ってお出かけしてみたいなと考えています。けっこ電車の絵本や新幹線の絵本を喜んで見ている子どもも多く、近くで見せられたらいいなとも思っています。



みらいく早苗町

水遊び

計画担当 祖山先生



今年は夏前からもう暑かったので、お散歩行く前にタライの中に水を用意してから出かけて、いっぱい遊んで汗をかくて戻ってきた子どもたちが、その水でクールダウンするのを目的に水遊びが始まりました。タライや敷いてあるブルーシートに慣れない子も、このお散歩の時から少しずつ積み重ねて今は全然泣かずに元気に楽しんで水遊びができています。暑すぎて外に出ていられない時もシャワーだけでは肌を清潔に保ち、あせもなどを防いでいきたいと思っています。またどんなに少量の水でも、水難事故にならないよう子どもたちの人数や状態、表情などに注意しています。



みらいく県町

春の遠足

計画担当 田中先生



今回の遠足では、春の生き物や植物に触れたり春の心地よい気候を嗅いだりなど、肌で感じて楽しんでほしいというねらいで計画しました。

朝の会では遠足のお約束として、信号が青になったら渡るんだよとかどうやって渡るのかなとマグネットシアターを使って子どもたちに説明しました。またいつもより遠い場所なので、どんなものがあるのかも紹介してより楽しめるように気分を盛り上げてから出発しました。着いてからみんなでおやつを食べたのですが、普段出ないスティックゼリーだったので、子どもたちは本当に美味しそうに大事にちよつとずつ食べていてとてもかわいかったです。自由遊びでは遊具もあるのですが、どんぐりや虫を探するなど探索系の遊びも好きな子が多く、自然を使った遊びをする姿もみられました。落ちてる葉っぱを集めて落ち葉シャワーもしてみたり楽しく過ごせました。今後は夏ならではの遊びをたくさんしていきたいと思います。水に触れることがすごく好きな子が多いので、全身を使って水遊びを楽しんでもらえるよう頑張っていきたいと思っています。



みらいく保育園

お花見

計画担当 尾島先生



今年のお花見は2か所の公園に行つて楽しみました。1か所目の公園では朝おやつをみんなで食べて、その後はボール遊びや砂遊びなどそれぞれ自由に遊びました。今回は天候も良かったのか桜もけっこ長い間咲いていたので、子どもたちは普段のお散歩でも桜を楽しむことができました。桜が散った後も花びらを拾って集めたり、桜の実を見つけて集めたりしていて、すごく自然に触れることができた季節でした。暑くなってくると熱中症対策を行ったり、虫も多くなつて危険も増すため必ず何回か下見に行つて安全を確認しています。実際にしだれ桜のある公園で、低い位置の桜の花にハチが寄ってきて遊べなかったこともあり、子どもたちが安全に楽しく外で活動できるように対策を心がけています。

0歳児クラスの担任として、今後も一人一人に合わせながら楽しく製作をしたり、はじめての感触遊びをしてみたりなど、安全に少しずついろんな体験をしていってほしいと考えています。

法人の行事



2025年度入職式

4月1日、みらいく職員入職式が行われました。
今年も多くの仲間がみらいくに加わり、「自分が働く組織を知る」「一緒に働く仲間を知る」というシンプルで最も大事な目標を共有し、グループワークなどを通して和気あいあいとしながら理解を深めていました。

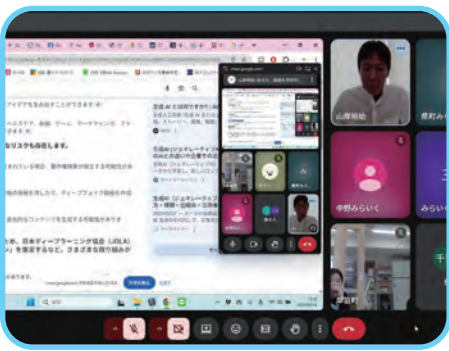
意見交換会

5月、新入職員と管理職員の意見交換会が開催されました。
新入職員はそれぞれ感じた率直な意見や質問を一人ずつ発言し、それに対して担当園・部門の管理職員が一つ一つ丁寧に返答していました。その後のお茶会では、普段なかなか話す機会がもてない園同士で情報交換をするなど、有意義な交流の時間となりました。



Aー活用勉強会

Aーをうまく活用し園業務の効率化、質の向上を目指し、理事長が講師を務めオンラインで開催されました。



第一回副主任会

今回は長野県立大学公開講座と一緒に開催され、経営者の仕事に関して学べる貴重な機会となりました。



子育てポケット

YouTubeチャンネル

登録者数 15000人

突破！

子育てに役立つ情報や、家庭でも気軽に参考にできる動画を配信するYouTubeチャンネル「子育てポケット」では、登録者数が15000人を超え、一歩一歩着実に成長し続けています。2021年8月からスタートした当チャンネルは、皆様の温かい声に支えられながら少しずつ成長し、毎週沢山の動画を公開し続けています。ふれあい遊びや手遊びなどご家庭で参考にいただける動画のほか、普段の園生活の様子なども好評配信中です！

今後も親子で楽しみながら学べる動画を配信し、子育て中の多くの皆様に応援していきたいと思っています。

●「子育てポケット」とは
地域発子育て応援番組・Webメディア・YouTubeで、子育てに悩む多くの皆さまへお役に立てるよう、専門家の声がギッシリ詰まった情報や親子で楽しめる動画を多数配信しています。今後も引き続きぜひご覧ください。

子育てポケット



▼子育てっていいな！
を皆様にお届け♪
YouTubeチャンネル



▼前向きになれる♪
子育て情報メディア



PICKUP!!

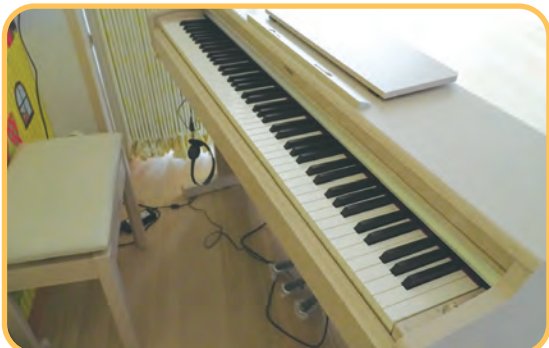
みらいく小布施

栗の木診療所より物置の寄贈

●栗の木診療所 内坂先生のコメント
検診でいただいている謝礼を小布施の子どもたちのために役立ててほしいと考え、寄付という形をとらせていただきました。

●施設長代理 金井先生のお話
去年から寄付のお話をいただいていた、去年はちょうど保育室でよく使うキーボードの調子が悪くなっていたので、電子ピアノをお願いすることにしました。卒園式でも使うので本当にありがたかったです。去年の終わりに理事長も交えて検診の嘱託料の見直しを行った際、また来年もぜひ寄付させていただきたいとおっしゃってくださいましたこともあり、今回も園で必要な物置をお願いさせていただく流れとなりました。

検診に来てくださる医者さんというだけでなく、子どもたちのことを見守ってくださるような地域の方として、より身近に感じる機会になりました。職員の中でも、栗の木診療所さんからいただいたものとしてより大切に扱う意識が共有されましたし、思い入れもあってか保育で忙しくしていても丁寧に使ってくれています。今後次の内科検診でお礼として子どもたちの製作を渡そうと考えています。



みらいく県町

あたたかい地域交流



●近藤先生のお話
今回の交流のきっかけは、普段通りお散歩を終えて帰ろうとしていたところへ、相手の女性から声をかけていただいたところから始まりました。振り返ると大きめの紙袋を持っていて、学校で使わなかった教材の余りとのことでした。みらいくのことは認識されていませんでしたが、職場が近く子どもたちがお散歩している姿をよく見かけていたそう、ご厚意でそのまま受け取らせていただきました。その日たまたま理事長もいらつしやる場所で今回の出来事を報告していると、理事長のお知り合いの方であることも判明してとても驚きました。

後日お礼に行くため、すぐに子どもたちと製作にとりかかりました。せっかくなら全クラスで作りたいと思い、月齢が低くても出来る手形アートで花束のブーケを作ることになりました。子どもたちも絵の具遊びが好きな子が多いので、「手形やるよ、おいでー」と声をかけるとすぐに自分で塗ってみたい、手形をいっぱい押し付けてくれたり楽しんでいました。お礼に行くのは少人数で考えていたのですが、県町園は合同で過ごせることも多いので結局全員で行かせていただきました。お散歩の途中に寄れる本当にご近所で、子どもたちも「いるかな？いるかな？」とワクワクしながら歩く姿がありました。相手の方も本当に喜んでくれて、記念写真も撮っていただきました。今後もハロウィンやクリスマスなど交流できる場面があるので、子どもたちにとって良い経験や刺激になればいいなと思っています。

